



国土交通省では、「生産性革命」の20のプロジェクトを選定。平成29年度は、生産性革命「前進の年」として省をあげて取り組み、リーディングプロジェクトとしてのi-Constructionの推進により、建設現場の生産性向上を加速。今年度は、土工以外の分野としてICT舗装を取り込むこととしています。

北陸地方整備局においても、ICT技術活用の拡大、コンクリート工の生産性向上、施工時期の平準化を推進し、建設現場のプロセス全体の最適化を図り、魅力ある建設現場の実現を目指していきます。

最新ニュース

『現場支援型モデル事業の実施』

- 建設業全体の生産性向上のためにはICT土工の裾野を拡大することが必要。
- 自治体発注の工事では、小規模な土量の工事もあることから、今年度、自治体発注工事を対象とした『現場支援型モデル事業』を実施。
- 当事業では、自治体が設置する支援協議体の下で、ICT活用を前提とした工程計画立案支援や、ICT運用時のマネジメント指導による好事例創出、効果検証及び普及活動を支援。
- 北陸地整では、9月19日に新潟市発注工事を対象とした支援に向けての初回打合せを行いました。



打合せ実施状況



現地視察

本号の掲載内容

ICT技術の活用	平成29年度発注工事におけるICT技術活用状況
規格の標準化	なし
施工時期の平準化	週休2日取得に向けた取組

平成29年度発注工事におけるICT技術活用状況

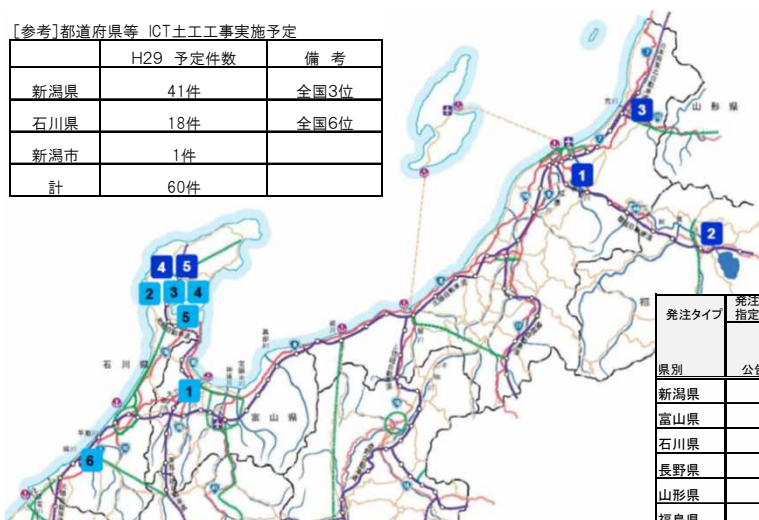
平成29年度、北陸地方整備局発注のICT土工工事は11件の工事において実施中（9月末現在）。
 ※協議が整った工事から順次施工
 自治体においても今年度、60件発注を予定（7月末現在）。

施工者希望Ⅰ型		工事量	
		盛土(m3)	掘削(m3)
1	阿賀野川下里地区河道掘削その4工事	15,000	40,000
2	長井河道掘削その5工事		19,000
3	海老江河道掘削その7他工事		11,000
4	H29・30能越道 長沢道路その6工事	40,000	10,000
5	H29・30能越道 長沢道路その7工事	10,000	40,000

施工者希望Ⅱ型		工事量	
		盛土(m3)	掘削(m3)
1	中田地区道路整備その2外工事	31,900	18,000
2	H29能越道 小泉道路その11工事		30,000
3	H29・30能越道 小泉道路その12工事	20,000	20,000
4	H29・30能越道 小泉道路その13工事	20,000	20,000
5	H29能越道 のと里山空港IC改良その2工事		25,000
6	H29梯川千代築堤工事	14,600	7,500

【参考】都道府県等 ICT土工工事実施予定

	H29 予定件数	備考
新潟県	41件	全国3位
石川県	18件	全国6位
新潟市	1件	
計	60件	



発注タイプ	発注者指定型	施工者希望Ⅰ型					施工者希望Ⅱ型					計	ICT実施		
		公告	発注予定	公告	契約	ICT実施	発注予定	公告	契約	ICT実施	調整中			ICT実施しない	
新潟県				4	2	2	4	9	6		6			17	2
富山県								12	12	1	8	3	12	1	
石川県				2	2	1	12	9	5	3	1	15	7		
長野県	1			3		1						5	0		
山形県							3	3		3		3	0		
福島県			1	1	1	1	1					3	1		
岐阜県							2	2		2		2	0		
総計	1	1	10	5	5	6	39	32	6	22	4	57	11		

